

社会人基礎力

みなさん、こんにちは。今朝は嵐のような風雨で目が覚めました。昼間は曇り空で、強い風が間断なく吹いていました。夕方、研究室のある50号館から不言実行館へ移動する際、身体が飛ばされそうな勢いで風が吹き、朝の天気予報で「強い風に注意」とのコメント通りで驚きを感じましたが、それ以上に天気予報の正確さに感心しました。

12月6日(日曜日)に『社会人基礎力育成グランプリ2016 中部地区大会』にcommonsサポーターが出場しました。出場テーマは、『学生自らの力で育て、創る、学生のための空間で社会人基礎力が動く!』でした。commonsセンターでサポーターがこれまで運営して来た事を通して、社会人基礎力が育成されたことを自らでアピールして来ました。

「社会人基礎力」は、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として、2006年に経済産業省により提唱されました。ごく簡単に言えば、社会人が基礎的に備えておくべき能力の事です。社会人基礎力の定義づけを行っている経済産業省は、以下のように説明しています。さらに、経済産業省が企業向けに行った「社会人基礎力に関する緊急調査」では、9割以上の企業が新卒採用や人材育成において、「社会人基礎力」を重視していると回答しています。

「社会人基礎力」とは、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力(12の能力要素)から構成されており、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として、経済産業省が2006年から提唱しています。企業や若者を取り巻く環境変化により、「基礎学力」「専門知識」に加え、それらをうまく活用していくための「社会人基礎力」を意識的に育成していくことが今まで以上に重要となってきています。

経済産業省HPより(<http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/index.html>)

今回の大会でcommonsセンターのcommonsサポーターチームは上位に食い込むことはできませんでした。学びを競いと結合することは賛否あると思います。学びは競争ではないと言う意見も否定はできません。しかし、社会で考えると、少なからず競争はあり、特に企業は競争原理の中で生き残りをかけています。このことから、今回サポーターが出場した競争には意義があると感じています。特に今回の競争は個人ではなく、チームとしての競争であったことが重要な点です。はじめてcommonsサポーターとして出会った学生たちがチームを作り、個人の弱みをカバーしながら、さらにそのチームの強みを成長させる。出場のプロセスを近くで支援する中で、そんな強靱なチーム作りを感じとることができました。

今回の発表チームからは、まだまだ満足する活動や発表では無かったとの声が聞こえました。今後の成長に期待し、見守って行きたいと思います。

commonsセンター長 伊藤 守弘



壇上で質問を受けるサポーター



集合写真